

えひめのくらし

— 生計費モニター通信 —

クレジット・サラ金(消費者金融)の 高金利

No. 123

あなたはご存知ですか？

2006年5月1日発行

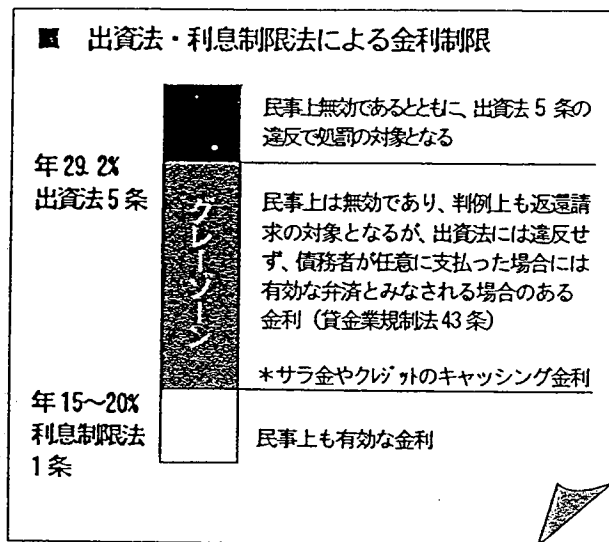
格差社会が拡大しているなか、増税などで可処分所得が減少し、無担保・無保証で借りられる小口の消費者向け金融に頼らざるを得ない人たちが増えています。ところが、いまの公定歩合が0.1%、銀行の貸出平均金利が年2%以下という我が国において、そうした需要に応えているクレジット(キャッシング)・サラ金・商工ローンの金利は、年29.2%を基準とするとんでもない高金利です。

本当は支払わなくてもいい利息？

現在、サラ金利用者は増え続け1900万人を突破しています。これは国民の6.6人に1人がサラ金を利用しているという数字になります。

これを、自己責任だと断罪する人も多いかもかもしれません。高い金利と分かっていながら借りるのが悪い！言いたい事はわかります。しかしそうした高金利だからこそ、膨大な利息が積み重なり、多重債務をひき起こし、借金の泥沼から抜け出すことができない人々が増えつづけています。

しかもこの高金利は民事上、無効な金利であることをご存じですか？



上記の表のように、民事上有効と認められているのは利息制限法による貸付で、年15~20%の金利です。が、クレ・サラ業者は利息制限法の制限金利を超えても罰則がないこと、また貸金業規制法に借入者が任意に支払った利息として受領できる「みなし弁済」規定があることを理由に刑事罰がかかる上限金利のギリギリ25~29.2%もの高金利をとり、借入者に当たり前のように払わせています。

最近の最高裁の判例では、この「みなし弁済」は無効であるとする判決が相次いで示されています。つまり本来は無効であるはずの高金利によって、多くの借入者が払う必要のない利息を支払わされているのです。

問題は、法律の二重構造によって、グレーゾーンが生まれている事！
金利は利息制限法に一本化し、貸金業法の「みなし弁済」規定を撤廃させましょう！

3 がつ の データ (06年3月分)

世帯の状況

		2005年 3月	2006年 2月	2006年 3月
調査対象数(世帯)		199	261	240
世帯主年齢(歳)		43.1	42.2	42.7
平均家族数(人)		3.8	3.9	3.9
世帯主職種	公務員	13.1	13.0	11.8
	会社員	73.9	73.2	71.2
	自営業等	5.5	8.8	8.5
	無職	7.5	6.1	7.5
世帯主年齢	20~29歳	2.5	3.8	1.9
	30~39歳	42.2	42.9	42.0
	40~49歳	32.2	34.1	33.5
	50~59歳	15.6	13.8	15.6
	60歳以上	7.0	5.4	6.1

実支出

	2005年 3月	2006年 2月	2006年 3月
合計	465,043	454,367	482,402
消費支出	332,499	332,634	359,694
食費	55,083	51,758	55,706
住居費(家賃・ローン)	40,399	52,269	41,905
住居費(その他)	17,077	30,325	16,652
水・光熱費	18,842	21,522	20,122
被服費	15,590	13,810	16,014
保健医療費	9,360	9,911	11,033
理容衛生費	8,476	6,765	7,732
交際費	18,362	13,453	16,265
交通費	5,279	3,021	4,638
通信費	13,547	13,974	16,535
教育費	48,886	36,096	61,671
教養娯楽費	16,349	14,887	16,790
職業・主婦費	31,109	30,111	29,211
自動車関係費	27,956	29,188	38,125
その他	6,184	5,543	7,296
非消費支出	132,544	121,734	122,708
税金	16,823	20,279	21,856
社会保険料	46,343	43,953	44,906
私的保険料	61,207	50,530	47,494
その他非消費支出	8,171	6,972	8,452

実収入

	2005年 3月	2006年 2月	2006年 3月
合計	442,450	449,444	447,492
給料(夫)	324,813	325,887	338,116
(妻)	27,032	31,531	30,638
賞与(夫)	2,034	1,501	4,117
(妻)	60	115	273
公的年金(夫)	609	19,213	945
(妻)	432	8,840	361
自家営業	22,062	13,059	11,223
家賃・地代収入	3,978	3,109	6,906
パート・アルバイト収入(夫)	1,340	429	2,333
(妻)	20,084	14,893	16,738
同居家族からの収入	3,001	3,039	2,673
私的年金(夫)	0	2,236	647
(妻)	3,070	781	386
その他の収入	33,934	24,813	31,275

別掲

	2005年 3月	2006年 2月	2006年 3月
積立・定期預貯金	31,329	34,652	35,197

再掲

	2005年 3月	2006年 2月	2006年 3月
住宅ローン返済額	27,687	40,447	28,001
住宅以外借入金返済	5,623	4,083	2,890

特別収入

公共事業用資産買い取り金(1件)	3,738,080
------------------	-----------

特別支出

自動車購入費(3件)	5,144,262
住居費《外構工事一式》(1件)	450,000

3 月 の お た よ り か ら

- ☆ 今月は私の通院費がかさんだ。大丈夫・・・と思っていたがとうとう花粉症のようです。昨年、飛散量が多かったからか今年是新患の方が増えたいです。春は好きな季節のままにしたいのですが、3月は少しツラかったです。(32歳)
- ☆ 3月はいつもお祝い事などの交際費が増えてくるので支出も増えるなあ・・・と思っていたのですが、思ったより少なくてすみません。そのかわり家族の入院で医療費はさほどかからなくても(保険がおりたりするので)交通費がとてまかかりびっくりしました。島に住んでいるのでどうしても橋を渡らなければ病院にも行けず、仕方ないとは思っていたけど入院のように度々行くことになるのかなりの負担!!橋代の高さ、何とかしてほしいものです・・・(33歳)
- ☆ 食費のやりくりがうまくいきました。手作りをしっかり心がけて頑張っている成果が表れてほんとうに嬉しいです。早く暖かくなってきて、灯油、電気、ガス代が安くなってほしいです。(38歳)
- ☆ 3月は末娘の部活の遠征が多かったので教育費がかかりました。4月からも週末は試合か遠征、練習も市外なのでお金も体も大忙し!まずはバテないように食費減を考えながらも栄養のある食事を心がけなければと思っています。去年は家計簿を付けていなかったもので、いくら部活費にかかったかはっきりしないけど、今年は年間の費用を把握できそうです。頑張ってやりくりしたいと思います。(47歳)
- ☆ 次女が中学に入学するので、準備のために出資あり。思ったよりもかかりませんが、これから塾代、部活にかかる費用、おこずかいなどお金は今以上に必要になってくるのでしょう。三女、四女とまだ控えています。教育費は本当に際限なく増えていく気がして怖いです。楽しみも多いでしょ、と言われれば納得ですが・・・。(44歳)
- ☆ 主人の生命保険があと10ヶ月で更新となり金額がUPされる。かなりの金額になると予想され、この際保険の見直しをして新たに安い保険に入り直そうとしたらコレステロールを下げる薬を飲んでいて新規に入れそうにない。しまった～。どうしよう!日頃、薬のことなど気にもとめていなかったのに。無知ってコワイ。今保険料をどう払おうかと、悩んでいる日々です。(?歳)

- ☆ 今月は、実家に帰省しいつもより出費が重くなりました。残業代のおかげで赤字にならなくて済みました。4月から1年間、私も働くことになり、収入が多くなりますが、気を緩めず節約に励みたいと思います。(28歳)
 - ☆ 付け始めて3回目の提出。まだただ記入しているだけなので節約につながったことはないみたい。でも、我が家のお金の流れが分かったという事は、少しは改善につながったのかなと思います。毎日が忙しくただ流されているのをそろそろ記入しながら反省し貯金できるようにしていきたいと思います。(35歳)
 - ☆ 自転車に久しぶりに乗りました。買ってもう4年もののに数えてみれば乗ったのは10数回……。サビだらけで早速手入れをしました。暖かくなってきたので風が気持ちよく、無心にペダルをこいでリフレッシュ。遠いと思っていた図書館も12、3分ほどで行けてよい運動になるようです。ダイエット・節約、地球に優しいとよく言われていたけど本当にそうですね。春休みは娘とあちこち自転車で出かけてみようと思います。(41歳)
 - ☆ 今月は車検があったので、大きな出費でした。貯金がなくなってしまったので、これから少しずつでも貯金ができるように頑張ります!!(25歳)
 - ☆ 4月から松山のゴミの分別が変わった。今まで普通に捨てていた物の中にリサイクルできる物がたくさんあることに気づいた。と、同時に過剰包装が多いことも考えさせられた。包装を簡単にすれば、そのモノの金額を下げることも可能になるのでは?ゴミも金額も減れば、消費者にとってはありがたいことである。この頃は無駄が多すぎる。本当に必要なモノだけを買いたいと思うのだが……。売る側も見栄えばかりを気にせず、消費者が本当に求めているモノを考えて頂きたい。(37歳)
 - ☆ 次男に車検前の車をやり、新車購入。私はガソリンと環境のことを思い、ハイブリット車をとっていたのですが、定価・値引きの関係で叶いませんでした。もうこの車にずっと乗る予定です。確定申告をしっかりとらしたら93272円還付されました。所得税の欄を△にしましたが、それでいいのでしょうか?(58歳)
- 〈編集より:それで、大丈夫ですよ(´0´)〉

編集 愛媛県生計費調査委員会

発行 えひめ勤労者生活情報センター

〒790-0066 松山市宮田町132番地

TEL 089-933-2871

愛媛県生活協同組合連合会

〒790-0952 松山市朝生田町3-1-12

TEL 089-931-5207